ハピカム
ミライデザイン会議

由布市

# 観光
Sightseeing

由布院盆地全景

湯布院ブランドとして他地域をけん引する観光モデルを築いた湯布院、石畳の風情が郷愁を誘う湯平、美しい景観に移住者が増加する塚原高原、由布川峡谷や黒岳といった雄大な自然など個性が光る観光資源を擁する由布市。変わりゆく時代の中で、これからも由布市の観光が輝き続けるために求められる変革とは。地域の若手リーダーが議論を交わした。

# 垣根ない寄り合いから一歩

## 将来像について話そう

**三浦**　由布市の観光の将来像を話し合い、楽しいことを探っていけたらと思います。私は紙面のレイアウトを行う整理部という部署で、デスクをしています。友人の紹介で由布市に引っ越して7年目になります。

**梅野**　由布市商工観光課にいます。挾間町役場から合併した後は庄内庁舎にいましたが、湯布院の観光業に飛び込んで勉強したいと思い、希望しました。観光課になって５年目、人の支えがないとうまくいかない職務なので、いろんな方と知り合えてありがたいなと思っています。

**渡辺**　塚原で旅館を経営しています。知り合いもない所にやってきたわけですが、いっぱい友達ができました。梅野さんにはよく怒られているので声が震えてしまうかも（笑）。よろしくお願いします。

**梅野**　違いますよ！

若手リーダー
由布市商工観光課主査
**梅野朋美** さん

**河野**　ＪＴＢ九州大分支店にいます。1階の窓口に10年間、お客さまとの最前線で働いています。皆さんと一緒に話していきたいと思います。今日はよろしくお願いします。

**太田**　草庵秋桜を経営しています。10年前に立ち上げ、どうなるか分からなかった中でも仕事を続けて、地域のことに関われて、感謝、感謝で生きています。

**麻生**　湯平温泉観光協会の事務局を預かっています。実家の旅館まるやは、湯平では6番目くらいに古い旅館で、私は5代目です。

## 議論センターに「人」を

**三浦**　私と渡辺さんは1971年生まれ。同年6月に、中谷健太郎さんたちが湯布院の目指す将来像を探りにヨーロッパへ出掛けています。町にとって大事なのは緑と空間と静けさだということを学び、そこから湯布院は自然を守り、その土地の暮らしそのものが観光だという道を歩み始めました。現在、由布市の観光客数は年間約400万人になっています。今日はテーマを設けて聞きたいと思います。まず、これから何を守っていくのかについて、守っていきたいものを紙にお書きください。

（それぞれ書いて貼り出し）「石畳」「人」「自然景観、自然環境」「村（まち）の感覚、風土」

若手リーダー
旅館まるや代表
**麻生幸次** さん

**三浦**　麻生さんの「石畳」とは。

**麻生**　湯平で生まれ育ったので、石畳は普通のものでした。湯平のＰＲをする際、歴史を探る際、私たちは石畳を中心に生きているような気がしています。今年から石畳にちょうちんを付ける取り組みをしています。かつて湯平は九州でも屈指の温泉地でしたが、現状は厳しい。湯平の観光浮揚のために石畳は必要だと思っています。

**太田**　僕は「人」。湯布院の風景は町があって農業景観があって商業施設があるからお客さまが来てくれていると思うんです。人によって由布岳の景観も守られています。由布市は人と自然がなりわいとしてつながっている。自分たちの生活基盤を考えたときに手放してはいけないものが人です。議論のセンターに「人」が入ると、まとまるのではないかと思います。

**渡辺**　「自然景観、自然環境」。塚原はメガソーラー建設の問題が持ち上がっています。自然景観にひかれて暮らしている人が多いので、自然を生かした形で観光を推進していきたいと思って書きました。もともと農業が主体の町ですので、観光が一緒に暮らしていくには自然景観を守っていかないといけないと思っています。

## 守ろうという意識強い

**三浦**　ＮＰＯ法人「日本で最も美しい村」連合にも参加されているとか。

**渡辺**　同連合は、人のなりわいの中から生まれた自然景観が一番素晴らしいというところから始まった運動です。塚原の景観だけでなく、地元が守り続けてきた伝統文化も評価されたと思っています。

**梅野**　私は「風土」。湯布院で仕事をしていると、地元の方が地域を守ろうという意識が強いと感じます。それが「村の風土」なのかなと。そういったことを伝えていけたらいいな。

**渡辺**　僕は福岡からこちらに来ました。都市部にいたらみんなと何かをすることがありませんが、こちらでは不便なことがたくさんあるから、みんなで助け合ってやっていく。それが僕には新鮮でした。

**梅野**　イベントのときも、企画段階からポスターとか自分たちで作るんですよ。しかもこれが結構すごいんです。

**麻生**　お金がないからだよ。

**梅野**　それもあるけど、プロデュース能力がすごいなと思うんです。

若手リーダー
湯布院塚原高原観光協会会長
**渡辺理** さん

**渡辺**　確かに地域にプロのデザイナーさんがいらっしゃるんです。無償でしてくれているので悪いなとは思うんですが。

**麻生**　湯平温泉にもしっかり者がいて、湯平が売りにしている部分を調べてポスターにしてくれる。本人も嫌いじゃないはず。

**渡辺**　逆らえないだけじゃないの？

**麻生**　違う違う！

**太田**　好きなんです。探したら絶対町にいますよ。本業がいない田舎だからできるんです。逆にデザイン事務所が立ち上がってもやっていけないかも。

**麻生**　デザイン料の概念がないからね。

**梅野**　こういうのが、よくも悪くも村っぽいなーと。

**河野**　観光の観点からいうと、観光の方向性って、アクティブシニアとか女性とかだろうと思うんですが、人との触れ合いとか食を楽しみにされている方がすごく多くて。由布市は割と都会の人が来る地域だから人のつながりとか自然景観とかが素晴らしいと感じるのでは。横のつながりがこれだけしっかりしている地域って珍しい。守りたいものが、今後の観光の目を向けている部分なのかなと感じました。

アドバイザー
ＪＴＢ九州大分支店
**河野友佳** さん

**太田**　地域が目指す姿を、コンセンサスを取るのは大切。以前、湯布院で地元の物を売るよう規制しようかという議論になった時に言われたことがあるんですが、人と人が点でしかつながらないんです。地元の物しか売らなくなったら店が維持できるのかと。地域の姿を共有する会を僕らで立ち上げないと。

## ライフスタイル知ろう

**三浦**　次に何を変えていこうか、ということを書いてください。

**太田**　見直す、ということですか。

（それぞれ書いて貼り出し）「ライフスタイル」「３町の友合（ゆうごう）」「意識」「おもてなしの充実」

**太田**　「ライフスタイル」というのは、自分の町でどう生きたいかというところにつながると思って。なかなか若い従業員が続かないんですよね。会社としてライフスタイルを提供できていないのかなと。由布市も挾間、庄内、湯布院にはそれぞれのライフスタイルがあって文化がある。お互いのライフスタイルを考えたり、見直したりすることはみんながができることですよね。どう町と関わるか、生きるか、そういったことを運動としてできないかなと。

**梅野**　すごい。

## 上下関係なくワイワイ

**渡辺**　僕は「3町の友合」としました。

**麻生**　「融合」じゃなくて？

**渡辺**　なんとなくだけど。塚原では若い人たちだけでもつながろうと九十九（つくも）という青年団があります。いろんなしがらみを外して、地域の20歳から49歳の男性が自主的に入会しているんですね。若い人の居場所がないなら自分たちでつくろうと。今は農業や観光でかみ合わない部分があるんですが、そういうのを解消したいなと。

**太田**　垣根がないってすごいですね。

**渡辺**　上下関係もないんです。どうせこの町で暮らしていくのだから楽しくやりたいなと。塚原からそういう関係をつくりたいです。

**太田**　私は湯布院に住んで楽しい。飲みにいく場所もたくさんあるし、バーもあるし、イベントもある。刺激がほしい人が触れれば楽しいと思う。その時に九十九みたいな団体があるといいなと思います。

若手リーダー
草庵秋桜代表
**太田慎太郎** さん

**渡辺**　どうせやるなら楽しくと、みんなで同じＴシャツを作ったりして。青年団で出店を出してワイワイしていたら、帰省してきた人たちも「変わったな」と感じて、「帰ってみようかな」という気持ちになってくれています。これは、由布院の人から勉強させてもらいました。牛喰（く）い絶叫大会とか何百人もスタッフがいて、参加することを誇りに思っているんですよ。

**太田**　楽しい、というのはすごく必要。楽しくないとだめなんです。イベント用に牛コツラーメンとかを20人くらいが集まって120杯くらい作ったら、当日雨でさっぱり売れなかったりして。でも、それも楽しい。

**麻生**　残念ながら、今の湯平温泉は「楽しい」があまりないように感じます。何かやろうとすると、来る人とそうでない人と分かれてしまう。いい時代のイメージが強すぎて、何をやってもだめなんじゃないか、という意識を感じる時があるんです。それで「意識」。やらないことは、変わらないことだと分かってほしい。

## 地元の人の意識変わる

**三浦**　その意識は、変えられると思いますか。

**麻生**　最近はだいぶ話を聞いてくれるようになりました。

**太田**　変わるんじゃないかな。湯布院って今は農業の人がつながり始めている。60代くらいの人の意識が動きだすと大きく変わるんじゃないかな。

**三浦**　先日、麻生さんが「成功例がいる」と言われていましたが。

**麻生**　観光って、やってみないと分からない。資金力もないし、答えのない中で模索しているわけです。

**太田**　「売れる」という例をつくりやすいのは湯平と塚原だと思うんですよ。石畳は既に物語がありますよね。

**麻生**　石畳にちょうちんを付けたいと思ったのは、空き店舗対策からです。商店街といっても家賃も売り上げもすずめの涙。やっていけなかったんです。

**太田**　「売れる」状況って、自分たちにとって何だろうと見つめ直す瞬間があると思うんです。そこを切り取ったら観光客が「行きたい」というセンテンスはいっぱいあるのでは。

**渡辺**　もともと地元の人たちは「ここでは暮らしていけない」と言って出ていったんです。でも、よその人が移り住んで商売して、意外とお店が増えていっている。逆に地元の人が「暮らしていけるやん」という意識が芽生え始めたんじゃないかな。

**太田**　それが成功例ですよね。

**渡辺**　観光をやりたいという若い人が増えているなと思います。お客さまのニーズが自然の中でゆっくり過ごしたいというものに変わったタイミングもあります。今の若い人たちは幸福度合いの価値観がたいぶ違ってきていると思うんですよね。3町の友合は、メガソーラーの問題の時に見えてきたものです。お互いを知った上で認めて、市としてまとまってくれるといい方向に行くんではないかな。

## まだ埋もれている素材

**麻生**　観光のお客さんが来てくれるとやはり変わるんじゃないかなと。庄内はあんなにいい炭酸水を持っているのに、売ろうとする意識があまりないんですよね。売り方次第では由布市の目玉になると思います。湯布院温泉は年間何百万人来ていますが、今後衰退するかもしれない。第2次のものを持っていると復活もしやすくなるんじゃないかと。

**太田**　周遊観光がうまく回ると、変わることは間違いない。

**麻生**　そうすると、湯布院以外の人が変わってくると思う。観光業以外の人には、観光客が来たら嫌だと言われたこともあります。でも観光の恩恵が自分に返ってくれば、きっと観光の良さを分かってもらえると思う。

**太田**　湯布院の今の状態が続くとは限らないと思います。周遊観光など、懐が深いものをつくるべきだと思います。

**麻生**　正直、湯布院は大分の名前より有名です。これだけネームバリューのある湯布院があるのは強み。でも、何となく、お互いの良いところを見ようとしないんです。

**梅野**　情報の発信とかプロモーション能力とかが足りないので、発信はやはり市がすべきことだと思います。炭酸水など、まだまだ埋もれているものがある。周遊観光について、違う湯布院の魅力を誘導するために一緒に盛り上がれたら。由布市はちょうど大分の中央でアクセスもいい。何度も来ている人も多いので、細やかな情報を発信して由布市をもっと好きになってもらうような窓口があるといいなと思いました。

**太田**　ワンストップサービスというか、由布市の観光情報を一元管理するベースがほしいね。

**河野**　湯布院の宿泊でも、連泊される方は少ないですよね。周辺を巻き込んで周遊観光ができればかなりの強みになります。情報の発信もいろんなツールでできますし。一元化も必要だと思います。みなさんのお話を聞いていて、周遊ができるように整えていければと思います。

## 知ることから始めよう

**三浦**　ミライキーワードを決めていきたいと思います。

**梅野**　ライフスタイルとか意識とか、そういう感じのことですかね。観光で集まって話すと、観光客より住んでいる人の話になるんですよね。人が根本にあるので、そういうところはいいな。

コーディネーター
大分合同新聞記者
**三浦寿生**

**太田**　地域を知る、産物を知るとか、「知る」でどうでしょう。

**三浦**　では、「知る」で。これで分科会を閉じます。ありがとうございました。


由布市制施行10周年

# 第26回 庄内神楽祭り

先人より脈々と受け継がれた 神々の舞

**日　時**
平成27年
11月2日㊊ 午後２:00〜５:00
11月3日㊋ 文化の日 午前8時〜

**場　所**
庄内総合運動公園 神楽殿
※雨天の場合 庄内屋内競技場

**入場料**（高校生以上）
11月2日㊊ 300円 ｜ 11月3日㊋ 500円

会場案内図

**プログラム**

| 11月2日㊊ | |
|---|---|
| 14:00〜15:10 | 「大蛇退治」由布院神楽保存会 |
| 15:10〜15:50 | 「盆神楽」山内神楽講（福岡県） |
| 15:50〜16:20 | 特別プログラム（神楽体験） |
| 16:20〜17:00 | 「本剣」ゆふいん子供神楽社 |

| 11月3日㊋ | |
|---|---|
| 8:00〜 8:10 | 「神楽ばやし」神楽ばやし愛好会 |
| 8:15〜 8:45 | 「五方礼始」大龍神楽座 |
| 8:50〜 9:20 | 「大平楽」竹の中神楽座 |
| 9:25〜 9:45 | 「鹿児弓」西庄内保育所 |
| 9:50〜10:10 | 「大蛇退治」あなみ保育園 |
| 10:15〜10:35 | 「貴見城」ひばり保育園 |
| 10:40〜11:10 | 「八雲払」中江岩戸神楽保存会（熊本県） |
| 11:15〜11:45 | 「御先」山内神楽講（福岡県） |
| 11:45〜12:00 | 主催者あいさつ |
| 12:00〜12:30 | 「神逐」阿蘇野神楽座 |
| 12:35〜13:05 | 「貴見城」庄内子供神楽座 |
| 13:10〜13:40 | 「返し矢」櫟木神楽座 |
| 13:45〜14:15 | 「柴曳」中江岩戸神楽保存会（熊本県） |
| 14:20〜15:00 | 「国司」雲取神楽座 |
| 15:05〜15:35 | 「岩戸開き」並若神楽社 |
| 15:40〜16:20 | 「地割」中臣神楽座 |
| 16:25〜16:55 | 「二草」庄内原神楽座 |
| 17:00〜17:30 | 「戸開」小野屋神楽座 |
| 17:35〜18:15 | 「日割」由布高等学校郷土芸能部 |
| 18:20〜19:00 | 「大蛇退治」平石神楽座 |
| 19:00 | 閉会 |

主催／庄内神楽祭り実行委員会
共催／由布市
後援／JAおおいた由布事業部
おおいた森林組合
由布市商工会
庄内町観光協会
大分合同新聞社
NHK大分放送局
OBS大分放送
TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送
エフエム大分
OCT大分ケーブルテレコム
ゆふいんラヂオ

※時間は予定です。順番、演目等の変更がある場合があります。

同時開催　第34回 由布市庄内町ふるさと祭り　（多目的広場）特産品の展示即売・ふるさとの味コーナー・ステージイベント等

プログラム
11/2（月）
12:00〜 オープニング／コンサート等
17:00〜 舞踊・カラオケ大会等 来場者参加型イベント
19:00〜 花火大会

11/3（火）
10:00〜 お楽しみ抽選会（2時間おきに実施予定 10時、12時、14時、16時）
◆こども広場

※時間等は予定です。内容は予告なく変更することがあります。

お問い合わせ：由布市庄内振興局地域振興課 TEL.097-582-1111　由布市商工観光課 TEL.0977-84-3111